

## 第4回宗像市地域公共交通会議会議録

日 時	平成25年3月12日(火) 10時00分～11時00分
場 所	市役所北館第202会議室
出席者	【委員】永尾英信、牛嶋賢一(松尾代理)、大枝良直、中條光秋、森 正彦、岡田祐一、花田俊六、前田 誠、大嶋長治、早川正史、貫 一字、平田恵美、峯 久子 【事務局】大隈課長、高山係長 松山
確 認	前回議事録の確認
報 告	1) 時刻表等の紹介 2) 赤間試験運行について
議 題	利用促進策について

### 1 会長あいさつ

今回は10月24日に会議を行いまして、ふれあいバス・コミュニティバスの路線、時刻等を議論させていただきました。それから持続可能な運行を確保するという観点から、利用促進策、利用者負担も検討させていただきました。

今日は利用促進策のご検討を中心をお願いいたします。

### 2 前回会議録の確認

事務局から説明

意見なし

### 3 報告

1) 時刻表等の確認

2) 赤間試験運行

事務局からの説明

意見なし

(事務局)

赤間地区においては月2回会議を行っている。前田委員から補足、コメント等ありましたらお願いいたします。

(前田委員)

今月の7日にバスがコミュニティに納車されている。運転手が8名、運行管理者が6～7名。このスタッフでスタートしようとしています。週5日で4ルートを予定しており火曜日と木曜日、水曜日と金曜日で1と3、2と4のルート、土曜日は1つのルートを一日走るというルートで準備をしています。

利用申し込みが520名くらいあっている。それだけ関心を持っていただいているということうれしいことというふうに理解しています。運転については時間通りに

運行できるか習熟運転を行っているところで、今後ともご指導をお願いしたいと思います。

(永尾会長)

市内で唯一交通空白地域があった赤間地区で試験運行が始まります。事務局、吉武、南郷と試験運行の経験がありますので、なんでもお尋ねください。

(森委員)

赤間試験運行についてPRはどのようにされたのでしょうか。

(前田委員)

試験運行が開始されることを全戸配布でお知らせしている。またルート図等を14日の広報の際に全戸配布をします。

(松尾代理)

自家用で完全無料ということで法的には問題ないが、市が運行するということが安全運転に気をつけていただきたいと思います。

(事務局)

安全面を考え、先日警察の講習会を運転手の方に受講いただきました。運行開始後も安全面に気を付けます。

(松尾代理)

アルコールチェッカー等は導入されていますか？

(前田委員)

購入しています。

## 議題

### 利用促進策について

(事務局)

来年度の促進策説明

(永尾会長)

前回の会議で利用促進策について様々な意見をいただきました。それをベースにしながら、また他の事例を参考にしながら事務局で大きく4つの利用促進策を挙げています。詳細については本日ご意見いただいて、つめていく必要がありますが、こういう考えでバス利用の促進を図っていきたいと思います。忌憚のないご質問、ご意見を願います。

(早川委員)

池野・岬路線について、4月からサンリブに乗り入れることに伴い、利用者の増加を期待しているところですが、他のところで著しい利用者の変化があれば教えてください。

(事務局)

今手元に数字は持ち合わせてはいないのですが、毎月集計をしている感覚ではそこ

まで大きな変化はありません。しかし、早川委員がおっしゃるとおり、4月の改定で岬・池野路線の利便性が高まりますので利用者は増えると考えています。

(前田委員)

PR策について地域の広報紙とあるが、これはコミュニティの広報紙ということでよろしいでしょうか？

(事務局)

はい

(前田委員)

市の広報紙よりコミュニティの広報紙の方が読まれる。早めに枠取りをしていただくようお願いします。

(事務局)

池野・岬についてはサンリブに乗り入れることによって利便性が高まる。地域の方でも積極的にPRをお願いします。

(松尾代理)

PRについて9月1日号の広報紙ということだが、異動が多いのは4月なので9月では少し遅いように感じます。はじめて転入された方が、バスのことを知らずに交通手段を確立し、その後にPRすることになる。はじめからバスをPRすることができたら、初めから利用いただける。何かいい方法があればと思うのですが。

(平田委員)

転入するかたは必ず市民課で手続きをします。市民課の手続きの際に配布できるといいと思います。

(松尾代理)

熊本で公共交通のPRのため案内を水道のメーターに入れたこともある。転入者は必ずメーターを確認するので伝えることができる。そういった方法もあります。

(事務局)

平田委員にご意見いただいたように市民課の転入の手続きの際に配布します。

(大嶋委員)

地域広報紙というのはコミュニティの広報紙でしょうか？コミセンとしては最低でもバス路線、時刻が変わりますということは4月に伝えなければいけないと思っている。

(事務局)

よろしくをお願いします。

(永尾会長)

2つほど意見が出ましたので、整理したいと思います。ひとつは時刻表について、転入者に渡してはどうかという意見をいただきました。宗像市はベッドタウンですので転出、転入という大きな動きがあります。バスを知っていただくため、時刻表を転入者に配布します。

もうひとつ、地域広報紙についてですが、9月1日号については市、地域一斉に掲載したいと思います。また地域広報紙については、ご迷惑をおかけしますが各地域工夫していただいて、乗り心を誘うような記事を随時掲載していただければと思います。

事務局もアドバイスをいたします。

(中條委員)

作品の掲示について、バスの日や地域幼稚園の作品を掲示すると、利用促進につながると思います。西鉄バスでもバスの日などはそういったことを行っている。

(峯委員)

現在利用している方は今回の改定を大変楽しみにしている。今から利用してほしい方にどのように広げていくかが大切。吉武地区では以前あったメイトム直行便がほしいという意見が、いまだにある。しかし、いろいろな事情で、乗り換えていけるような路線を設定していることを説明している。乗り出すとまた、いろいろな意見が出ると思いますが、よろしく願いいたします。

(永尾会長)

将来的には西鉄バス、ふれあいバス、コミュニティバス共同でキャンペーンをできればバス利用の促進につながると思いますので、何かアイデアございましたら事務局にいただきますようお願いいたします。

(森委員)

キャンペーンですが、商工観光課が行っている商品券「むなかたキラリ」となにかタイアップすれば、市役所同士でコミュニケーションもとりやすいし、いいのではないのでしょうか？

(永尾会長)

商工観光課とのタイアップで利用促進ができないかとの意見をいただきましたので、検討させていただきます。

(平田委員)

無料乗車キャンペーンについてですが、これはどういう紙(券)を利用しますか？小さい紙などはお年寄りがなくしやすい。形や厚さを考えていただきたい。

(大嶋委員)

利用促進の目的は一言でいうとなんのためなのか？ただ利用してくださいではなく、こうだから利用してくださいというのは必要ないのでしょうか？

(事務局)

赤字削減が本音のところですが、高齢者の方が公共交通を利用することによって交通事故が減少したり、省エネの効果があることを併せてPRしていきたい。

(花田委員)

また、西鉄バスが通っていない身近なところにバスが通り、非常に利便性が高まるというのもあると思います。

(森委員)

公共交通機関を利用することによって、これから将来の交通手段を確保するという  
こともあると思います。これから高齢化により足が弱くなる。利用することによって  
広がることもあるし、利用がなければなくなることもある。

(大嶋委員)

公共交通を持続させるためということですね？

(森委員)

そうですね。

(岡田委員)

最近南郷に老人施設が2つできたので、停留所もまた考えないといけないかもしれ  
ない。

(事務局)

南郷地区については近々オープンする温泉施設もありますので要望がでてくるか  
もしれませんね。

(貫委員)

花田委員が言われていたように、身近にバスがあるというイメージで展開していく  
とよいと思う。

(永尾会長)

今いろいろなご意見が出ましたが、そういったものが、利用促進をはかる目的、狙  
ではないかと思います。まずはやはり交通弱者のためにやっている。より多くの方に  
利用していただいてより良いものにしていきたい。裏では、多く利用していただかな  
いと事業が継続できないということもありますが、やはり、より多くの方に利用いた  
だき、交通弱者の移動手段を確保していきたいということではないでしょうか。

(早川委員)

作品展示で、現在市でゴミ収集のポスターがあるが、そういったものも掲示しては  
どうか。同じ市役所内ですし。

(事務局)

庁内で周知し、掲示できるものは掲示し、PRにつなげていきたいと思えます。あ  
りがとうございます。

(前田委員)

コミュニティバスの定員が9名ということですが、実際9名は厳しいですね。今赤  
間で試験運行しているが、お年寄りの方は助手席が高く乗車が難しいです。

(早川委員)

乗り手が多く乗り切れないことはあるのか？

(事務局)

神湊の路線でよくあります。

(森委員)

玄海地区で報告を受けています。タクシー会社で運行していますので、不足した場

合はタクシーで対応しています。

(永尾会長)

利用促進策について、まだ煮詰まっていない部分がありますが、一人でも多くの方に利用していただくために内容をつめまして、場合によっては、また事務局から相談させていただきながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、今後のスケジュールについて事務局説明をお願いいたします。

(事務局)

スケジュール説明

(永尾会長)

25年度は7・11・3月での公共交通会議の開催を予定しております。また、アンケートについて、通常は利用者のアンケートを行っていますが、利用していない方のアンケートをなんとかとれないかと検討しています。市では毎年1回市民アンケートをとっているのですが、それを利用するのか、あるいは主な利用者である高齢者を対象に単独で実施するのか、いろいろなことを考えていきたいと思っております。

(峯委員)

今アンケート用紙はどこにあるのか。

(事務局)

現在はないです。7月から10月の間に1週間程度、バス内で実施する予定です。

(永尾会長)

それでは本日の議題は終わりましたが、それ以外の件でご質問ご意見ございましたら。

(事務局)

もう一点だけよろしいでしょうか。以前の会議で出ておりました、時刻表の小冊子版、携帯版を今年度作成しバス内に設置しようと思っております。

(平田委員)

ふれあいバス、コミュニティバス両方ですか。

(事務局)

両方に設置します。

(永尾会長)

最後ですので、各委員さんに感想をお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(森委員)

先ほども言いましたように、やはり長く続けることが大切だと思いますので、長く続けていただきたいと思います。

(岡田委員)

大事なものでございます。市当局だけでなく地域全体で盛り上げていかなくてはうまくいかない。コミュニティと努力していきたいと思っております。

(大嶋委員)

この問題は各地域百点のものだということはないんだと思います。できたものを一生懸命提案していきたいと思います。

(貫委員)

地域のコミュニティからいろんなことが発信され、発展してきている様子が前回から見えていますので、そういったなかで私たちタクシー業界が協力できることがあれば、一緒にやっていきたいと思っています。現在地域は発展途上にある時期だと思います。皆さんの努力が見えているので将来楽しみだなと思いました。

(平田委員)

利用者代表ということで、利用させていただいている立場からいろいろ発言をさせていただきました。本当に勉強させていただきました。使う側だけでなく、受け入れ側もいろいろな苦慮をされているのだなと感じましたし、みんなで協力できることはしていけることがわかりました。ありがとうございました。

(峯委員)

利用者側のことだけでなく、受け入れ側のことにもよくわかりました。近所の方に自分が乗る部分だけを抜き出してわかりやすくするなど、少しでも乗っていただけるようにしていきたいと思います。お世話になりました。

(早川委員)

私どもが住んでいるところは、宗像の過疎地でございます。主要施設への乗り入れが一番の課題でした。それが、実現できました。本当にありがとうございました。

(前田委員)

私どもの試験運行はコミュニティセンターを中心として路線をくんでいます。コミセンをスタートしてコミセンに帰ってくる。なおかつサンリブやゆめタウンなどの商業施設に行きます。それに対して、小さな店舗はどうするんだというご意見もあります。しかし、今からの高齢者はそういう施設に行くことが大切だと説明はしています。我々もどうなるかなと心配はありますが、ぜひ本格運行を実現したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

(花田委員)

私もいずれふれあいバスを利用する歳になります。今家内が南郷のかのこの里と河東のほたるの里に行っている。今回乗継がよくなり大変助かると言っていました。また、日の里のコミュニティ役員会のなかでも、今まで南郷に直接行けたのにという意見が出ていたので、今回の改正は非常に喜ばれると思う。儲からない仕事は地方自治体がやるということがありますが、ぜひ赤字があまり出ないようにと思っています。今回一年間でしたが、いい勉強になりました。ありがとうございました。

(中條委員)

昨年の4月からこの会に参加させていただいています。私どもバスを運行する会社ですが、まず事故のないよう安全運転につとめ、お客様の乗りやすいバスを提供して

まいりたいと思います。ご利用いただいているお客様の声を大事にしたいと思っていますので、運行面や接客面でこういうふうにしてほしいということがありましたら、言っていただければと思います。できるだけ改善して、利用しやすいバスを提供していきたいと思っています。よろしくお願いします。

(松尾代理)

国の機関ということで、福岡県内全地区のこういう会議に参加させていただいていますが、ここまでざくばらんに話されているのはここだけです。皆様確実に一言は地域の思いを発言される。地域性なのかなと思いました。わきあいあいとして本音が出て、かといって皆様わがままは言われたい。みんなのためにどうしたらいいかということが考えられ、非常にいい会議だなと思います。ですからここまで発達しているのだと思います。もちろん会長さんの巧みな話術もありますが。このバス事業が永劫につづくのが目的であれば、もっと利用促進をはかって孫子の代まで続けるようなものを目指していただければ、国土交通省としてもありがたいと思います。今後もぜひこの雰囲気をお願いいたします。

(永尾会長)

それでは最後に副会長の大枝先生お願いします。

(大枝副会長)

この一年皆さんの意見を聞きながら、非常に勉強になりました。本当にありがとうございました。宗像のコミュニティバスは10年くらい前から関わってきた経緯がありまして、いろいろありましたが、大分よくなってきたと思います。先ほど大嶋委員がおっしゃっていましたように、百パーセントの合格というのはないので、よりよいサービスができるようにさらに努力していったらと思っています。今年皆さんに検討していただいた内容が来年活かされるわけですが、またその結果をみて、どうなるかというのを考えていけたらと思っています。今回皆さんにまとめていただいたものがどのような結果になるのかというのを非常に楽しみにしています。どうもありがとうございました。

(永尾会長)

それでは次回お会いするのは7月になります。事務局もがんばってまいりますので、これからもよろしくお願いします。ありがとうございました。